

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

須恵

高等学校

36

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「自ら学び、新しい時代を生き抜く力、未来を切り拓く力を育てる学校」 学習におけるICTの積極的な活用や地域貢献・ボランティア活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、地域社会で主体的に活躍する人材を育成します</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>「校訓」・「五省」・「五心」を教育活動の根幹に据え、進取の気風の下に生徒の主体的な活動を促し、主体性・自律性の涵養を図り、新しい時代を生き抜く力、未来を切り拓く力を持った人材を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬愛の精神と国際的視野を備えた、常に探究し続ける人材 ・自分自身の未来を切り拓く強さを備えた、自律的な人材 ・地域やグローバル社会で活躍できる主体的な姿勢を持つ人材
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>(1) 認知能力の育成と非認知能力を伸ばす教育活動の推進 (2) 自律的な学修者の育成を念頭においた授業の展開 (3) 学習、学校行事、部活動等すべてを重視した教育活動の推進</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>(1) 将来の夢や目標を実現させるため、チャレンジ精神をもって努力できる生徒 (2) 思いやりの心をもって協働して学習や行動ができる生徒 (3) 自らを鍛え向上させようと学習や学校行事、部活動等に積極的に取り組む生徒</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>教師が生徒に寄り添い、スチューデントファーストで教育活動が実践でき、生徒に寄り添う 許聖也安全で安心な学校づくりが浸透してきた。また、生徒のアナゲトからも多くの生徒が学校生活に満足していると答えている。 高い志と夢の実現のため、今後さらに勉学と部活動の両立、非認知能力を伸ばす教育活動の推進が必要であるため、今まで以上に縦(分掌)と横(学年)の連携・強化を行い、組織力の向上を図る。</p>	(1) 安全で安心して通える学校環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重を基盤に据えた教育活動の推進と道徳心の涵養 ・挨拶、掃除に係る取組の徹底 	
	(2) 非認知能力を伸ばす教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、部活動、地域貢献・ボランティア活動などの体験的活動の更なる活性化 	
	(3) ICTを活用した授業の展開と探究の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ・「総合的な探究の時間」の充実を図り、問題発見・解決能力を育成 	
	(4) 自尊感情や自己肯定感を高める生徒指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的取組を促進し、自律性の伸長に資する学校行事・部活動等の運営 ・自分が大切にされていると生徒が感じるエンカレジングな生徒支援の推進 	
	(5) 一人一人の生徒のキャリア形成と自己実現に資する進路指導の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と進路決定後の学習の在り方 ・在り方生き方を考え、主体的に自己の進路を選択する力を育むキャリア教育の強化 ・生徒の希望と適性を生かす進路実現に向けた丁寧な出口指導の展開 	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務	年間を通じて、出席率95%以上を維持する	ICTを積極的に活用し授業改善に取り組む 生徒の興味・関心を高め、学びに向かう姿勢をよりよいものとする 学年や他分掌、保護者と情報交換を行い、連携を強化する	・授業アンケート(生徒対象) ・出席率(校務支援システム)	
	授業満足度80%以上を達成する	観点別評価に基づく教科指導及び授業改善を行う 観点別評価に基づく考査を作成し、実施する 授業評価規準及び評価基準を生徒に明確に提示する	・授業アンケート(生徒対象) ・授業アンケート(教員対象)	
	成績処理の更なる効率化を図る	校務支援システムの運用マニュアルの周知徹底を図る 考査振り返りの日の適正な運用を図る 自動採点システムのマニュアルを整理し、使用を促す	・使用・運用に関するアンケート	
広報	提供する各種情報が中学生の適切な進路選択に役立つよう志向する	2回のオープンスクール(8月・11月)と部活動見学デー(10月)を実施する 第4学区進路相談事業(8月)を円滑な運営する 1日高校体験(随時)等の中学校からの依頼に積極的に応える	・各種広報イベントに参加した中学生対象アンケート	
	1.29倍以上の志願倍率の確保	組織的・計画的に中学校訪問を実施する 動画コンテンツを中心に学校ホームページの情報整理を進める HP掲載までの流れをより一層整備し、積極的な情報発信を行う	・令和7年度公立高等学校入試志願状況	
企画	式典の円滑な準備・実行	企画段階からイメージを共有し、様々な視点からチェック、熟考する 全員で式典を創り上げていく雰囲気作りを行う 企画課スタッフだけでなく他の先生方の意見を取り入れて運営を行う	・事後アンケート	
	PTAとの連絡、相談、報告をスムーズに行い、業務を円滑に行う	PTA役員との連絡・報告・相談を密に行う 教員とPTA役員との業務分担を明確化させる 業務の精査、見直しを行う	・事後アンケート	
生徒	安心・安全な学校環境づくりといじめの早期発見・早期対応をする	月1回のいじめ等アンケートや、個人面談を実施し生徒支援を行う 日常の生徒支援を徹底し、迅速な対応をする いじめ対応や生徒支援などの職員研修の実施や外部講師による講演をする	・いじめ等アンケート	
	リーダーシップ及びフォロワーシップの育成	学校行事において生徒に当事者意識を持たせる仕掛けを行う 生徒の自主性を下に自己肯定感と自己決定の場を多くつくる 各々の行事後、自身の「リーダー」or「フォロワー」としての関わり方を振り返らせる	・岳城祭・体育祭における振り返りアンケート	
	挨拶の徹底と部活動加入率80%以上を目指す	挨拶の徹底に繋がる活動の協議、立案を生徒会中心とした取り組みを行う 挨拶運動等生徒中心の活動を実施し、学校の活性化につなげる 部活動紹介や部活動体験の実施を部活生と生徒会が連携した取り組みをする	・部活動統計	

様式3

保健	内科的保健室利用者15%減	保健委員を主体とした保健だよりでの注意喚起を促す	・保健室利用者統計	
		感染予防強化週間の実施を行い、感染予防に努める		
		マスク着用や手洗いうがい・換気の徹底をする		
	生徒支援体制の強化	生徒の居場所づくりと職員間の情報共有の強化をする	・出席統計	
		保護者やSC等との連携を密にする		
		教師間との情報共有と迅速な対応を行う		
	掃除の徹底	美化委員を中心とした清掃の立案・実行を行う	・事後アンケート	
		生徒が自主的な活動となるような教師からの声かえを行う		
		学校行事前後の掃除の徹底をする		
地域	総合探究における生徒の取り組みに対する充実感の向上	生徒の興味関心にあった取り組みを行う	・事後アンケート	
		生徒が明確な目的意識と充実感を持った取り組みをする		
		将来に向けた内容の充実を行う		
	コミュニティレンジャーによる地域貢献の拡充と小学生徒との交流会の内容充実	1・2年生を中心にボランティアを募集し、月ごとの担当を決めて運営する	・満足度アンケート ・事後アンケート	
		地域との交流や行政との連携を密にする		
		全職員とPTA役員で取り組み、運営の効率化を図る(小学生交流会)		
進路	年内入試合格率85%以上を達成する	早期面接指導を全職員の協力のもと実施する	・進路希望調査 ・授業満足度調査	
		基礎学力定着の講座を実施する		
		進路決定者への進路に応じた指導を実施する		
	県内私立大学入試合格率50%以上を達成する	一般入試追い込み時期の演習を効果的なものにする	・進路希望調査 ・授業満足度調査	
		進路決定者も含めモチベーションを向上させる		
		年内入試と一般入試の合格率等の差異を認識させる		
	進研模試、総合偏差値45以上の人数を増加させる	日々の授業と課題等で基本事項の定着を図る	・授業アンケート	
		長期休暇課外を有効的に利用する意識を向上させる		
		ICTを活用した模試事前対策に計画的に取り組ませる		
	面接指導を充実させる	進路意識の向上を図り早期から面接を意識させる	・学校生活アンケート ・進路希望調査	
		H.R.等を利用した面接講座を実施する		
		礼法指導で本校生徒全体のマナーアップを図る		
情報	Chromebookの活用率を100%にする	1クラス1講座以上の使用環境を構築する	・Chromebook活用について(生徒/教員)	
		学校満足度調査などを活用し随時、使用状況を確認する		
		職員研修等を充実させることで利用率を向上させる		
	ICT等を活用した指導ができる割合7割以上を目指す	職員研修等を充実させ、多くの要望に応える	・ICT活用状況のアンケート	
		ICT機器取り扱い方法の周知を図る		
		マニュアル化することで活用しやすい環境を構築する		
	個人情報漏洩についての意識を向上させる	情報漏洩事案を共有することで危機意識を高める	個人情報の取り扱いについてアンケート(職員)	
		研修会や日々の朝礼連絡を活用し意識の向上を図る		
		各伝達に関するフローを構築する		

様式3

研修	学校の組織力向上のための研修の充実	「共通目的」「協働意欲(貢献意欲)」で組織力を向上させる	研修後アンケート 内容、活用に関するアンケート	
		研修を通して「コミュニケーション力」の向上を図る		
		研修内容の充実を図り、職員間での共有化を行う		
	生徒、保護者の学校満足度80%以上を目指す	学校満足度調査を生徒2回、保護者等1回実施する	学校満足度調査(生徒/保護者等)	
		スピード感のある対応、対応を行う		
		個人面談、三者面談において納得感のある進路を提示する		
	生徒を主体とした読書推進の広報活動を充実させる	図書委員を学校行事に積極的に参画させる	・内容、活用に関するアンケート	
		図書館だよりを定期的に発行する		
		図書委員を中心に読書週間を周知させる		
1学年	心理的安全性の高い、充実感のある学校環境づくり	こまめにコミュニケーションを取り、困っていることがないか積極的に声かけを行うことで、質問・相談しやすい環境を作る	学校生活アンケート いじめアンケート	
		さまざまな活動を通して、成功体験を増やすとともに失敗への恐怖心を減らしていけるような指導を行う		
	リーダー育成とフォロワーシップの醸成	さまざまな協働活動を通して、リーダー層を育成していくとともに、自律的かつ主体的に考えて行動できるフォロワーシップを養う	学校満足度調査(生徒/保護者等)	
		主体的に学校行事や部活動等に取り組みせ、GRIT(「やり抜く力」、「粘る力」だと定義されている言葉)を鍛える		
	基本的生活習慣の確立	挨拶や返事、掃除の徹底や時間の厳守など、当たり前のことを当たり前にできる集団の育成を目指す	学校満足度調査(生徒/保護者等)	
		学校生活全体を通して、社会や家庭、学校等のルールをしっかり守らせる指導を行う		
	自ら進んで学びに向かう、たくましい生徒の育成	基礎学力の定着を目指すため、観点別評価に基づく教科指導及び授業改善を行う	授業改善アンケート	
		知識技能を活用する力を身につけさせるため、学習支援週間や五省ゼミを活用し、個々に応じた指導を徹底する		
	進路意識の向上	高い志を目標とした、3年間を見通しての教科指導および進路指導を行う	進路希望調査	
		総合的な探究の時間やHRを通して、職業観を育み、継続的な探究活動を行い、進路目標を明確にしていく		

様式3

2学年	安心して通える学級・部活動の環境づくり	教員側もシンキングエラーを起こし得るという自覚をもち、アンケート内容をはじめ相談等があれば初期対応に注力し、組織的かつ適切に対応する	学校生活アンケート いじめアンケート	
		生徒課や保健課と連携して、場に応じた適切な挨拶や丁寧な掃除などができるようにさせる		
	チャレンジ体験の推進と、体験的活動をとおした非認知的能力の伸長	学校行事やボランティア活動など色々なことにチャレンジさせ、様々な立場・役割を体験させる	学校生活アンケート	
		修学旅行や考査、各学期についてふり返りスライドを作成するなど事後指導を充実させ、成長した点や改善点を自分で認識できるような働きかけを行う		
	自律的に自走するための、ICTを活用した授業展開と学習支援の実施	総合的な探究の時間をとおして問題発見・解決能力を育成する	授業アンケート	
		五省ゼミを活用し、学習支援サービスの学習記録や模試の成績推移など個々の状況を把握して適切な指導・助言を行う		
	自尊感情や自己肯定感を高めるための生徒支援の強化	養護教諭やスクールカウンセラーと情報を共有して保護者に対応することで、良好な信頼関係を築く	学校生活アンケート	
		日々の生徒情報について教員間の共有を大切に、良いこと(主体的な行動、思いやりのある言動)も家庭に連絡するなど積極的生徒支援を行う		
	自己実現のための進路意識向上とキャリア形成の充実	キャリアパスポートを活用し、キャリア形成への自己意識を高めさせる	進路希望調査 キャリアパスポート	
		進路テキストの学習や進路行事をとおして職業観を育み、自己の適性について考えを深めさせる		

様式3

3学年	安心・安全な学習環境を整備する	挨拶や掃除の徹底、規範意識を確立し、落ち着いた環境の中で教育活動を行えるようにする	・学校生活アンケート ・いじめアンケート	
		人権教育HRや学校行事を通して、他者に対する思いやりの心を育む		
	主体的に行動できる生徒を育成する	部活動や諸行事を通して、主体的な姿勢や協働力を育成する	・学校満足度調査	
		ボランティア活動や地域交流に積極的に参加するよう促す		
	自律的な学修者を育成する	Google class roomやロイロノート、classiを活用し協働的な学びができる環境を整える	・授業改善アンケート ・学校生活アンケート	
		探究活動を通して、自己の課題に気づき、その解決に向けて意欲的に取り組めるようにする		
成功体験の積み重ね、自己肯定感を高める	学校行事の運営を生徒主体で行い、集団における達成感や充実感を通し、自己肯定感を高める	・学校生活アンケート ・学校満足度調査		
	様々な教育活動において、自己の役割を認識し、リーダーシップやフォローシップを醸成する			
第1志望の進路を実現する	模試の事前事後指導や個人面談を行い、進路実現に必要な基礎学力の定着を図る	・学校生活アンケート ・進路希望調査		
	進路に応じたワーキンググループを編成し、生徒が主体的に進路探究活動を行い、希望進路の実現を果たす			